

セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年4月30日

施設名 苫小牧市呼吸器内科クリニック
 指定管理者名 一般財団法人ハスカッププラザ
 所管課名 健康こども部 健康支援課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画の内容に伴い管理運営を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	患者の待ち時間及び動線やサイン等をわかりやすく明確にし、利用者に不便がないよう努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。		A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	医療関係機関・併設されている社会福祉事業団と協議・連携を取っている。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者（患者等）が円滑に利用出来るように日々改善し対応していることから、利用者の満足は得られていると思う。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者アンケートの内容についてクリニック内で協議すると共に、勤務スタッフ間でも意見交換をしながら改善が必要な部分について対応するよう努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からの意見等については、真摯に受け止めながら最良な改善方法を模索し出来るだけ迅速に対応している。	Ⓐ・B・C・D・E

3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	消灯・空調等をこまめに調節し節約している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業者選定規定に基づき、経費の見直しを行うように努めている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
収入増加のための取組はされているか。	呼吸器に関する予防接種を実施し収入増に繋がるよう努めている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	職場でのハラスメント研修を実施し個々の能力向上に努めている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	インシデント報告を積極的に提出しながら、リスク回避に努めている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正配置に努めている。	⓪・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	院内は施設入口にスロープを設け車椅子患者や歩行が困難な患者に配慮すると共に、バリアフリー構造とし、高齢者、障がい者などが利用しやすいクリニックとして運用している。	⓪・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	電子錠の保管庫を使用し、利用者の個人情報漏洩に注意し管理している。	⓪・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	税理士と顧問契約を締結し適正に処理を行っている。	⓪・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	各種点検業者により都度点検済み。	⓪・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品保管庫及び書庫等にて保管し対応している。	⓪・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定書等を作成し管理している。	⓪・不適
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者等を利用して地域貢献に努めている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

--

指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ・ 事務所及び患者が利用しない場所については、消灯や空調調整を実施し経費削減を実施している。
- ・ 古紙を利用し、コピー用紙の消費を抑えるよう取り組んでいる（内部で使う資料は出来るだけ、裏面を使用）
- ・ クリニック自体が広い作りになっていることから、患者の動線を明確にするために表示サイン等を変更し、患者が戸惑わないように工夫した。
- ・ 新型コロナウイルスが５類に移行したが、受診者数及び新患者についても落ち込みが無いことから、クリニック利用者が約 4,000 人の増加となった。
- ・ 一般患者と感染症の疑いのある患者を混同しないよう、別室に陰圧テントを設置し別々に受診できるよう整備した。
- ・ 昨年度同様に午前・午後の受付終了時に待合フロアの消毒、ソファの消毒等、施設内で患者の動線上の消毒を毎日実施し、スタッフや患者が安心して利用出来るよう努めている。
- ・ 主に使用する医療機器を更新し迅速な疾病発見を心がけている。
- ・ 禁煙外来の初診予約をインターネットで可能にし、希望者が利用しやすいように努めた。
- ・ 利用者には呼吸器に限らず、内科系疾患等も受診が可能なることを理解していただき患者増に繋がるよう努めている。
- ・ 苫小牧市民により多く認知してもらえるよう、広告業者・市営バスアナウンス等で周知を行い、多くの市民に利用してもらうよう努めている。